

[成果情報名] 輪ギクの熟苗利用と本ば直接短日法による短茎超多収周年生産

[要約] 輪ギクで切花長 60cm 程度を目標とした短茎栽培で、「神馬」と「岩の白扇」を組合せた作型では、茎長 20cm まで育苗する熟苗育苗と、定植後すぐに短日処理を行う本ば直接短日法を利用した栽培方式で周年栽培が可能となる。

[キーワード] 輪ギク、短茎栽培、周年栽培、本ば直接短日法

[担当] 静岡農林研・栽培技術部、施設型（花き）

[代表連絡先] 電話 0538-36-1555

[区分] 関東東海北陸農業・花き

[分類] 技術・参考

-----  
[背景・ねらい]

輪ギクの切花長を、実際の利用場面に合わせた 60cm として、1 作あたりの栽培期間を短縮することにより、年間あたりの作付け回数を増加して、収量を向上させる高回転周年生産方式を確立する。

[成果の内容・特徴]

- 1 熟苗の育苗方法は、セル成型 45mm 角（55 穴/トレイ）に長さ 10cm の穂を挿し、20～25cm に達した時点で定植する。また、育苗中に施肥（4 または 6g）を行うことで育苗期間が短縮できる（第 1 表）。
- 2 12～6 月収穫の「神馬」では、穂冷蔵（4、4 週間）、9 月収穫の「岩の白扇」では、苗冷蔵（4、4 週間）を行うことにより、秀品率が向上する（第 2 表）。
- 3 「岩の白扇」及び 12 月収穫の「神馬」では発蕾時に B ナイン 1,500 倍処理を行うことで、秀品率が向上する（第 2 表）
- 4 周年を通して、慣行栽培の標準的 2L 規格「切花長 90cm・65g」に相当する「60cm・上部 50cm 切花重 40g」の秀品率が 70% 以上の高い確率で得られ、ボリュームについても問題はない（第 2 表）。
- 5 本ば直接短日法を利用した場合の在ほ期間は約 60 日であり、合計在ほ期間は約 300 日である（第 1 図）。
- 6 「神馬」および「岩の白扇」を用い、熟苗利用と本ば短日処理を組合せた短茎栽培を行うことで、年間 5 作付けの周年生産が可能である（第 1 図）。

[成果の活用面・留意点]

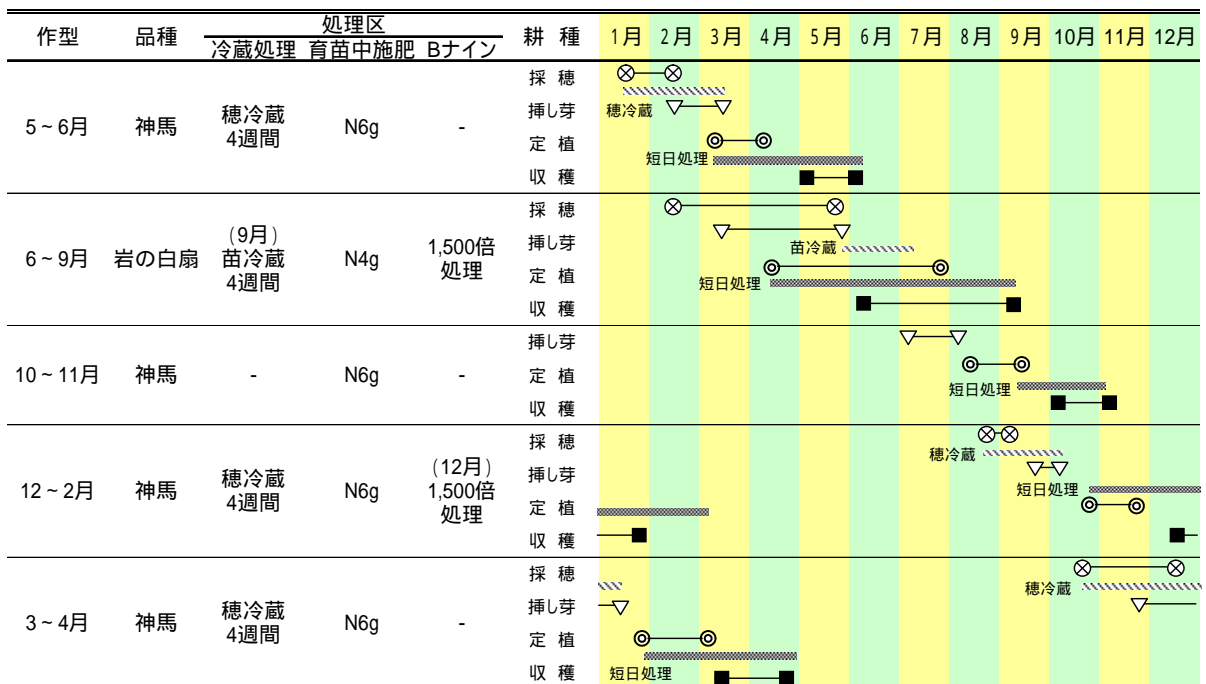
- 1 . 切花長 60cm の切花は通常の出荷規格とは異なるので、販売方法の工夫が必要である。
- 2 . 冬季の栽培は 16℃ 加温、夏季の栽培はパッド&ファンを装備した施設で栽培した結果である。

第1表．輪ギクの本ば直接短日法による短茎栽培の各作付け概要

収穫期	品種	処理区			採穂 (月/日)	挿し芽 (月/日)	苗冷蔵 処理	定植 (月/日)	育苗日数 (日)	平均収穫日 (月/日)
		冷蔵処理	育苗中施肥	Bナイン						
2	神馬	穂冷蔵4週間	N6g	-	9/5	10/5	-	11/20	46	1/25
3	神馬	穂冷蔵4週間	N6g	-	10/23	11/28	-	1/20	55	3/15
4	神馬	穂冷蔵4週間	N6g	-	12/12	1/11	-	3/1	50	4/24
6	神馬	穂冷蔵4週間	N6g	-	2/15	3/15	-	4/13	29	5/31
	岩の白扇	-	N4g	発雷時1,500倍	2/15	3/15	-	4/16	32	6/6
9	岩の白扇	苗冷蔵4週間	N4g	発雷時1,500倍	5/25	5/25	6/8~7/6	7/27	35	9/9
11	神馬	-	N6g	-	-	8/3	-	9/15	43	11/4
12	神馬	穂冷蔵4週間	N6g	発雷時1,500倍	8/21	9/21	-	10/23	32	12/16

第2表．輪ギクの本ば直接短日法による短茎栽培の各作付けでの切花品質

収穫期	品種	処理区			茎長(cm)		上部50cm切花時		到花日数 (日)	秀品率 (%)
		冷蔵処理	育苗中施肥	Bナイン	定植時	収穫時	切花重(g)	葉数(枚)		
2	神馬	穂冷蔵4週間	N6g	-	31.0	80.6	47.6	21.1	66.3	89.0
3	神馬	穂冷蔵4週間	N6g	-	26.1	67.9	48.4	21.9	55.2	86.7
4	神馬	穂冷蔵4週間	N6g	-	30.2	69.3	50.8	50.8	54.0	90.0
6	神馬	穂冷蔵4週間	N6g	-	20.0	67.3	55.3	22.3	48.8	100
	岩の白扇	-	N4g	発雷時1,500倍	21.7	67.7	40.7	22.1	51.7	73.3
9	岩の白扇	苗冷蔵4週間	N4g	発雷時1,500倍	26.0	65.6	42.8	21.8	44.1	73.1
11	神馬	-	N6g	-	30.0	74.7	44.0	20.0	50.6	80.3
12	神馬	穂冷蔵4週間	N6g	発雷時1,500倍	22.8	64.5	44.3	23.4	54.8	83.3



第1図 輪ギクの短茎栽培での年間作型体系図

[その他]

研究課題名：輪ギクの熟苗利用と本ば短日処理による短茎超多収周年生産

課題 ID：

予算区分： 県単

研究期間：2004~2007 年度

研究担当者： 寺田吉徳、興津敏広

発表論文等：